

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7366 金融論B			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜3限				
教室	J101教室				
代表教員	梶原 真紀				
担当教員	梶原 真紀				
テーマと到達目標	本講義では、理論と実践の両面から、金融の基本について学ぶ。 中央銀行の金融政策、金融市場のインフラや最新の潮流等について理解し、自ら説明できるようになることを目指す。				
概要	中央銀行の役割と機能、金融政策等の基本的知識を養う。金融市場の詳細や、証券取引所の役割、金融のデジタル化や、社会課題を解決し持続可能な社会に貢献する金融のあり方など、最新の動向も解説する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	イントロダクション：金融市場の役割				対面授業
第2回	資金循環統計				対面授業
第3回	中央銀行の役割と機能				対面授業
第4回	マクロ金融政策				対面授業
第5回	金融システムの安定化のための政策				対面授業
第6回	非伝統的金融政策				対面授業
第7回	短期金融市場				対面授業
第8回	債券市場				対面授業
第9回	株式市場				対面授業
第10回	証券取引所の役割と株価指数				対面授業
第11回	デジタル化による金融の変化				対面授業
第12回	サステナビリティと金融				対面授業
第13回	社会課題を解決する金融の新たな潮流				対面授業
第14回	今後の金融の課題				対面授業
第15回	総括・まとめ				対面授業
成績評価の基準	授業への出席と参加姿勢、コメントペーパー/確認テスト、レポート、期末試験の点数等により総合評価する（詳細は開講時に説明する）。全授業の2/3以上の出席に満たないものは評価の対象にしない。				
履修にあたっての留意事項	「金融論A」と併せて履修すること。遅刻は認めない（欠席扱いにする）。私語、携帯電話・スマートフォンの操作、内職などは厳禁とする（減点対象となる）。 尚、授業計画は状況に応じて変更の可能性がある。詳細は初回授業で説明する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	家森 信善（2025）『金融論（第4版）【ベーシック+】』中央経済社, 2,530円（税込）	教科書(ISBN)	978-4-502-52461-5
参考文献	後藤元, 小野傑, 守屋貴之〔編〕『動き出す「貯蓄から投資へ」：資産運用立国への課題と挑戦』金融財政事情研究会, 2024 藤木裕『入門テキスト 金融の基礎(第2版) 』東洋経済新報社, 2022 内田 浩史『金融（新版）』有斐閣, 2024 田中 茉莉子『金融論への招待（ライブラリ経済学への招待 6）』新世社, 2022 福田 慎一『金融論―市場と経済政策の有効性（新版）』有斐閣, 2020 その他、授業中に適宜紹介する。	参考文献(ISBN)	